

Local Area News

業界構造変化への対応を学ぶ 講習会を開催

群馬県食肉事業(協)連合会

5月22日、前橋市・K'BIXまえばし福祉会館において、本会の事業環境変化対応型支援事業を活用し、「食肉業界の現状と業界構造変化への対応」をテーマに講習会を開催した。講師は中小企業診断士の松田裕氏。

松田氏は、精肉・加工肉市場の成熟化や人口減少により「作れば売れる時代」は終わりつつあると指摘。他社の事例を交えながら、客層拡大や多様な用途に対応した商品開発の必要性を訴えた。

また、品質管理は保健所の「衛生監視票」を活用するなどして、中小企業は自社の実情に合った無理のない品質管理への転換が重要と説明した。

最後に、流通経路においては大手企業と中小企業の関係は対等ではなく、中小企業が不利になりやすい点に留意すべきと解説した。



講師の話に熱心に耳を傾ける受講者たち

全国から青年部が集結 2026年度通常総会・UBAサミットを開催 全国中小企業青年中央会

6月19日、茨城県水戸市・ホテルレイクビュー水戸において、全国中小企業青年中央会の2026年度通常総会が開催された。群馬県中小企業団体青年協議会より清水一憲会長ほか5名が出席した。

総会では、事業報告や事業計画、会費などの全議案が全員異議なく可決・承認された。また、役

員改選が行われ、当協議会の小林剛士直前会長が理事に就任した。

続いて、UBAサミットとして、阪南大学准教授の竜浩一氏による「これからの青年部を考える」と題した講演や、「全国青年中央会に求めることは？」をテーマとしたグループディスカッションが行われ、活発な意見が交わされた。

懇親会では、アトラクションとして「いばらき若旦那」(茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合青年部メンバーによる現役後継者ユニット)による歌謡ショーが会場を盛り上げた。また、11月の全国講習会開催地や来年の通常総会開催地のPRが行われ、盛会のうちに終了した。



小林直前会長が理事に就任(後列・右から4番目)

個人情報保護法の講習会を開催

桐生管工事(協)

6月23日、桐生市・桜木公民館において、「個人情報保護法の基本を学ぶ」をテーマに講習会を開催した。講師は株式会社インソースの中小企業診断士・宮田昌尚氏。

宮田氏は、情報が流出した場合、組織の信用失墜や多額の賠償金につながるだけでなく、不正を実行した従業員個人が刑事罰に問われることもあるとして、情報セキュリティの重要性を強調。

また、情報漏えいの約94%は内部起因であり、情報の取得から廃棄までの全段階にリスクが潜むと解説した。

最後に、情報セキュリティ対策の基本として、電子機器類や紙帳簿類だけでなく、人が保有する知識やノウハウも含めた全情報を情報資産と捉え、漏れなく管理することの重要性を呼びかけた。



事例紹介やワークを通じて理解を深めた